

「地域ICT/IoT実装推進セミナー in 福井」を開催



(一社)情報通信技術委員会
稲田 修一 氏

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）との共催により、平成30年11月5日（月）に、AOSSA（アオッサ）5階福井市地域交流プラザにおいて「地域ICT/IoT実装推進セミナーin福井」を開催しました。本セミナーは、企業や自治体等を対象に、IoT導入の意義、導入時の課題及びその解決策を紹介し、北陸3県におけるIoT導入の推進を図るもので、50名が参加しました。

冒頭の基調講演では、一般社団法人情報通信技術委員会 事務局長 稲田 修一 氏から、IoT導入の効用と現状、製造業や農業分野へのIoT導入の事例及びIoT導入後のマネジメント等について講演しました。

次に、国立研究開発法人情報通信研究機構 北陸StarBED技術センター センター長 宮地 利幸 氏から、北陸地域におけるIoTテストベッドである「北陸StarBED技術センター」の取組について講演しました。

その後、「ものづくりの現場で地域ICT/IoT実装の進め方」をテーマに、稲田氏をコーディネータとするパネルディスカッションを実施し、合資会社加藤吉平商店 十一代目当主 加藤 団秀 氏、大成精工株式会社 代表取締役 辻澤 幸夫 氏及び山田技研株式会社 技術営業 中山 隆之 氏から、自社におけるIoT活用に関する取組について紹介した後、宮地氏も参加し、ものづくり改革を進める上でのICT/IoT実装の役割、導入・活用に当たっての課題と解決策等について議論しました。

結びに、総務省情報流通行政局 地域通信振興課 課長補佐 加藤 陽介からIoT実装に向けた総務省施策の説明、同省国際戦略局 技術政策課 技術調査専門官 沼田 尚道から企業におけるIoT実装導入のための人材育成と支援プログラムについての説明、そして総務省北陸総合通信局 情報通信振興室長 市川 仁から「北陸3県におけるIoT実装の取組事例」と題して、福井県小浜市の「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト」の紹介と「Lアラート（災害情報共有システム）の概要」の説明を行いました。



(国研)情報通信研究機構
北陸StarBED技術センター
宮地 利幸 氏

○基調講演「ICT/IoT実装事例から考える製造業のイノベーションとその進め方」

一般社団法人情報通信技術委員会 事務局長 稲田 修一 氏

○講演「NICT北陸StarBED技術センターでのIoT技術検証環境の提供のための取り組み」

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）北陸StarBED技術センター センター長 宮地 利幸 氏

○パネルディスカッション「ものづくりの現場でのICT/IoT実装の進め方」

コーディネータ：稲田 修一 氏（一般社団法人情報通信技術委員会事務局長）
パネリスト：宮地 利幸 氏（NICT 北陸StarBED技術センター センター長）
加藤 団秀 氏（合資会社加藤吉平商店 十一代目当主）
辻澤 幸夫 氏（大成精工株式会社 代表取締役）
中山 隆之 氏（山田技研株式会社 技術営業）

○総務省説明1「ICT/IoT実装に向けた総務省の取組」

総務省情報流通行政局 地域通信振興課 課長補佐 加藤 陽介

○総務省説明2「地元企業におけるIoT導入のための人材育成と支援プログラム」

総務省国際戦略局 技術政策課 技術調査専門官 沼田 尚道

○総務省説明3「北陸3県におけるIoT実装の取組事例」

総務省北陸総合通信局 情報通信部 情報通信振興室長 市川 仁



(合)加藤吉平商店
加藤 団秀 氏



大成精工(株)
辻澤 幸夫 氏



山田技研(株)
中山 隆之 氏



パネルディスカッションの様子

問合せ先：北陸総合通信局 情報通信振興室 076-233-4430